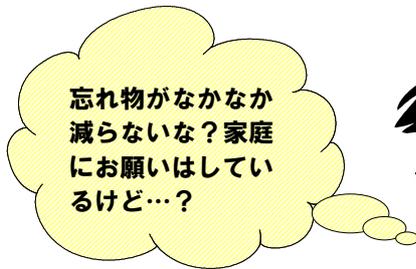


学校と家庭の連携にかかわる研究

—「新しい保護者会」を活用・発展させた子育て学習プログラムづくりと実践を通して—

長期研修員 田中 克久

現状と課題



教師A



教師B



なかなかうまくいかないな？
具体的な手だてはないのかな？

家庭との連携に課題を感じたことはありませんか！

そこで



「新しい保護者会」を活用・発展
させた実践研究に取り組みました。

学校や担任
のニーズを
受けて

Q & A

Q：「新しい保護者会」ってなんですか？

A：群馬県総合教育センターが、学校における保護者会の1つのモデルとして提案したものです。主な対象者は保護者で、保護者同士が学び合える参加体験型プログラムです。参加した方々から好評を得て、これまでに大きな成果を上げています。

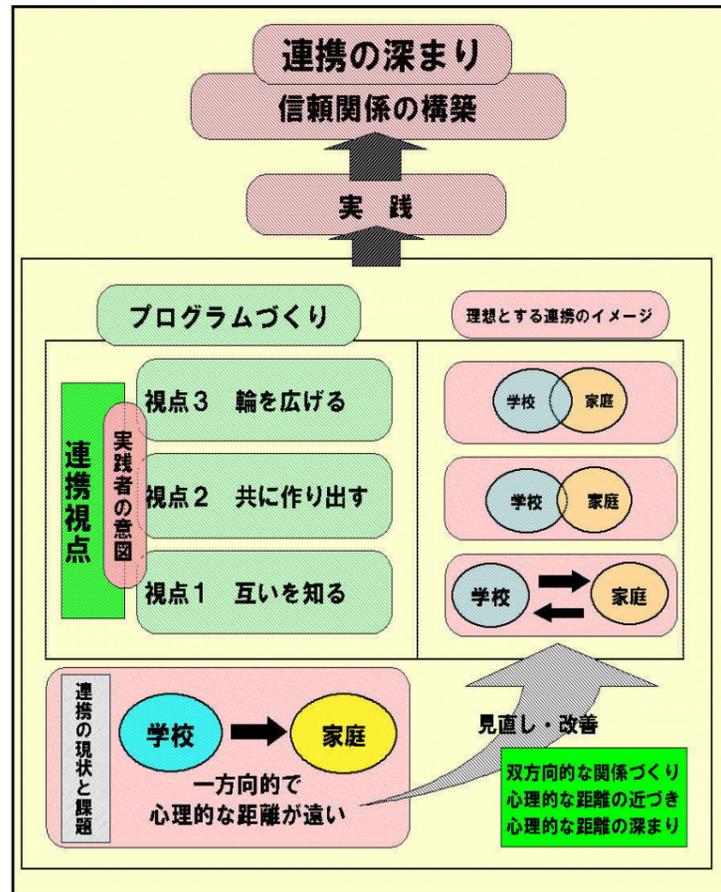


Q：今回の「新しい保護者会」は今までと何が違うのですか？

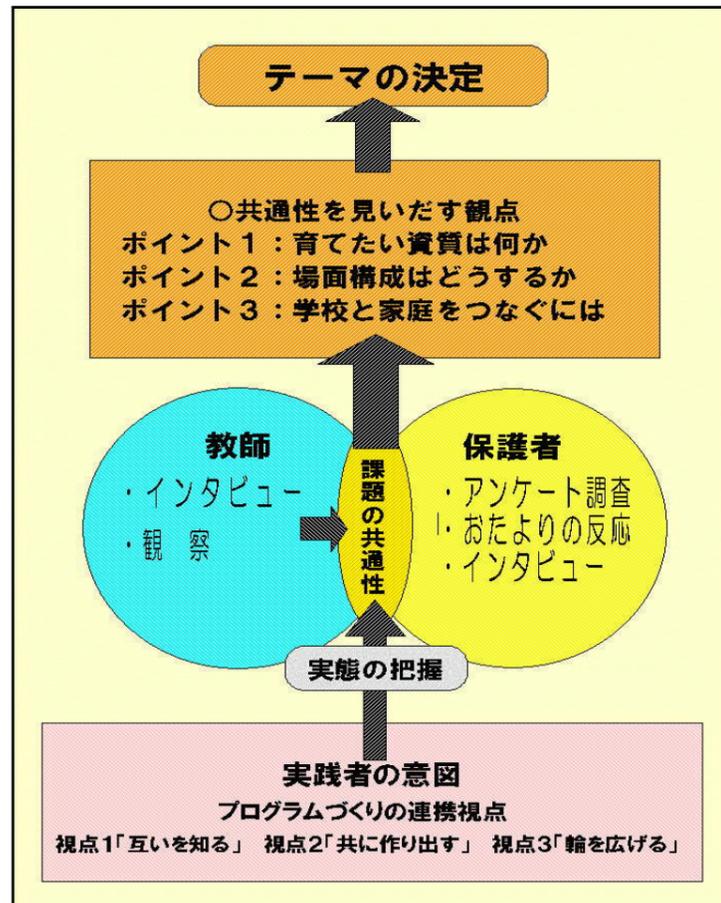
A：今回は学校の先生方も参加し、保護者の方々と一緒に学び合うものです。「子どもを共に育てる」という新しい視点に立ったプログラムづくりをしました。詳細は次頁をご覧ください。

実践

○ 学習プログラムの構想



○ テーマの設定



学校と家庭の連携に視点を当てた「新しい保護者会」子育て学習プログラム

学習プログラム1

連携視点1 互いを知る
テーマ：子どもへのかかわり方

ねらい

共通の課題から、「子どもへのかかわり方」をテーマに行う。子どもが、家庭でも学校でも伸び伸びと安心して生活するための効果的なかかわり方を、疑似体験を通して学び合う。

主な活動

1. 子どもの気持ちに添えない場面の役割演技
資料1 家庭での場面
お母さんあのお
資料2 学校での場面
2. 子どもの気持ちにこたえるかかわり方を考える
資料3 ワークシート

振り返り

保護者

とても楽しく学習できました。先生も大変だなあと思いました。先生とコミュニケーションがとれて良かったと思います。

教師

子どもの、「親にかかわりたい」「先生にかかわりたい」という願いを受け止めた、効果的な「かかわり方」をたくさん考えられました。

学習プログラム2

連携視点2 共に作り出す
テーマ：やる気を育てるかかわり方
-宿題に視点を当てて-

ねらい

共通の課題から、宿題に視点を当てて、「やる気を育てるかかわり方」をテーマに行う。宿題の目的やねらい、効果を理解し、よりよい子どもの成長を促す。

主な活動

1. 学校と家庭での宿題をめぐるやりとり場面の役割演技
資料1 家庭での場面
資料2 学校での場面
2. やる気を育てるかかわり方について考える
資料3 やる気を育てるかかわり方シート

振り返り

保護者

先生と一緒に考えてくれたことがとてもうれしかったです。

教師

ブレインストーミングで、やる気を育てる具体的なかかわり方を考えました。「やる気を育てるかかわり方シート」にまとめました。

学習プログラム3

連携視点3 輪を広げる
テーマ：つなげよう 広げよう 子育ての輪

ねらい

共通の課題から、「つながり」をテーマに行う。学校と家庭のつながりは、子どもの成長を支えるために重要であることを活動を通して考える。

主な活動

1. 子どもの成長について考え話し合う
みんな成長しているんだね
資料1 子どもの成長について
2. 子どもの成長を支える他者について考える
資料2 ワークシート

振り返り

保護者

悩んでいるのは自分だけじゃないんだと気が楽になりました。たくさんの人と話ができとても良かったです。

教師

家庭とつながることがとても大切なんだと思いました。家庭と協力して子どもの成長を支えていきたいです。

○ 学びの共有

参加した方も参加できなかった方も、すべての方に「新しい保護者会」での学びを知っていただくためにおたよりを作成しました。

「新しい保護者会」だより

宿題ってなんでするの？

2日にわたって実施された親子学習プログラム。今回は宿題について、先生と保護者で話し合いました。その目的やねらい、宿題についてみんなで考えてみました。みなさんから出た意見は本当に素晴らしいです。あるためじっくり考えてみると、宿題というものは、子どもの成長に欠かせない大切な役割を担っているのだと気づかされました。宿題は「大人になるためのトレーニング」であり、とても大切な取り組みであることが十分に感じられました。さらに、「子どもたちのやる気をどう育てるか」、そのかかわり方について考えてみました。少しでも子どもたちのやる気や自信を育てたい。宿題は「大人になるためのトレーニング」であり、とても大切な取り組みであることが十分に感じられました。さらに、「子どもたちのやる気をどう育てるか」、そのかかわり方について考えてみました。少しでも子どもたちのやる気や自信を育てたい。

次回のセミナーは！
日時：平成24年12月2日（水）
午前11時00分～1時間程度
場所：○○小 ○○室

留意点

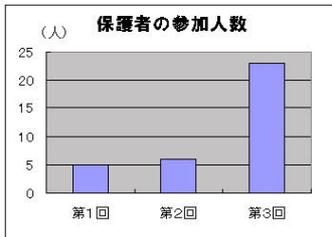
- ・文字は大きくはっきりと、親しみやすい字体で書く。
- ・学習内容は端的にわかりやすく伝える。
- ・保護者会で得た成果を伝える。
- ・見て楽しいイラストカットや写真を活用する。

実践研究した「学校と家庭の連携に視点を当てた『新しい保護者会』子育て学習プログラム」を作成します。各学校で御活用ください。

まとめ

実践を通して、「連携が深まるポイント」が見えてきました。

0 「新しい保護者会」参加人数から



家庭数33に対して



保護者の参加人数が回を追うことに増えました。

0 「新しい保護者会」に参加した方からの意見と考察

視点1 互いを知る
テーマ：子どもへのかかわり方

考察1：子どものことを伝え合い情報交換をする必要性を感じました。学校と家庭をつなぐためのお便りや連絡帳などを有効に活用していくことが大切です。

参加者の声

保護者A：先生は、たくさんの子どもの指導で「大変だなあ」とあらためて思いました。
保護者B：先生ともっとコミュニケーションが深まるといいなと思います。
教師A：家庭での生活の様子がわかり親近感がわきました。

視点2 共に作り出す
テーマ：やる気を育てるかかわり方
－宿題に視点を当てて－

考察2：相手の立場に立って考えることが大切であると感じました。おたよりに作るにしても、宿題を出すにしても「保護者の方々はどのように思うだろうか」ということを、いつも感じていることが大切です。

参加者の声

保護者A：先生方が私たちと一緒に考えてくれてとてもうれしかったです。
教師A：家庭で真剣に子どものことを考えて取り組んでいることが分かりました。家庭のことを考えて宿題の出し方も工夫します。
教師B：保護者の方々と一緒に考えながら意見の交流ができたことはとてもよかったと思います。

視点3 輪を広げる
テーマ：つなげよう広げよう子育ての輪

考察3：ふれあうことが大切であると感じました。保護者は先生方とふれあいたいと考えています。積極的に保護者に働きかけたり、PTA行事等に参加したり、また、今回のように、参加体験型の保護者会に取り組むことも大切です。

参加者の声

保護者A：「新しい保護者会」を通して、新たにお母さん方、先生方とも知りあえて自分の世界が広がったように思います。
保護者B：子育てで悩んでいるのは私だけではないということが分かりました。たくさんの方々とお話ができて少し気持ちが楽になりました。参加してよかったです。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター

担当係：生徒指導相談係

0270-26-9217(直通)